

国見まちづくり株式会社の第2回取締役会が17日に開かれ、26年度の決算、27年度の農産物加工、くにみ市場開設等の詳細計画、コンビニエンスストアのフランチャイズ契約等について協議しました。



取締役会 直売所



国見町道の駅出荷組合は9日、臨時総会を開き、(仮称)里まち文化ステーションでの直売所運営を円滑に進めるため、視察研修の実施と7月から試行的に行う「くにみ市場」の開催について協議しました。直売所の本格運営に向けた取り組みが始まりました。

(仮称)里まち文化ステーションでの直売所運営を円滑に進めるため、視察研修の実施と7月から試行的に行う「くにみ市場」の開催について協議しました。

動き出した「まちづくり会社」の取り組み

6月、(仮称)里まち文化ステーションの開業に向けた様々な取り組みが、動き出しました。

国見町道の駅出荷組合は18日、取締役会及び出荷組合臨時総会で決定された先進地視察研修を行いました。視察先は栃木県の道の駅「しもつけ」と「もてぎ」。

10億円、6億円を売り上げる優良道の駅です。参加者は熱心に聞き入ったり、質問をしたりしていました。

先進地研修 ミニストップ



(仮称)里まち文化ステーションで展開するコンビニエンスストアについては、これまで複数の大手コンビニエンスストア会社と協議してきました。

22日、まちづくり会社の店舗運営方針に柔軟な理解を示した「ミニストップ株式会社」と契約を締結しました。



「まちづくり・ひとづくり・しごとづくり」に向けた取り組みが始まりました

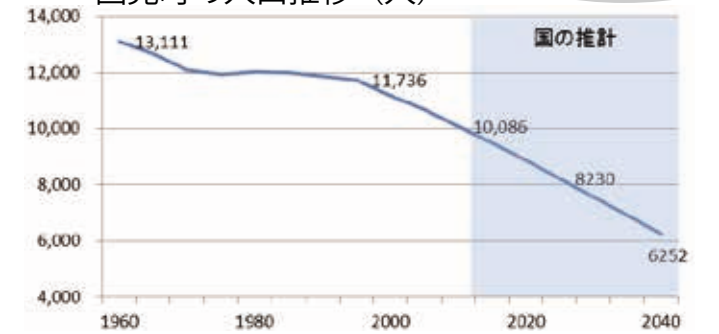
～人口減少のなか、元気な町であり続けるために～

減り続ける人口

日本中で人口減少が問題となっています。国の推計によれば、2040年(平成52年)の国見町の人口は概ね6,200人と推計されています。こうした、人口減少や少子化は、町の活力の低下につながる可能性があり、町にとって喫緊の課題となっています。

今年度、町では、まち・ひと・しごと創生のための総合戦略を策定します。既に、庁内に総合戦略策定推進本部を立ち上げ、6月19日には有識者会議を開催し、具体的な検討に入っています。

国見町の人口推移(人)



※この推計は、今のままで対策をしない場合の想定です。人口減少の対策は早ければ早いほど効果的と考えられます。

国の総合戦略の基本目標

人口減少に対応するため、平成26年12月に国は、今後目指すべき将来の基本的方向や具体的な施策を示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。

◆4つの基本目標

- 地方における安定した雇用を創出する
- 地方への新しい人の流れをつくる
- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する



第1回国見町総合戦略有識者会議の様子

国見型 まち・ひと・しごと創生総合戦略

町では、震災を契機として再生のまちづくりを進めてきました。(仮称)里まち文化ステーション整備事業や歴史を活かしたまちづくりなどは、国見の特色を活かした取り組みであり、しごとづくり、まちづくりが始まっています。

これらの取り組みも活かしながら、国見型の総合戦略を検討するため、有識者や専門家の助言を受け、さらに若い世代の声も聞きながら、国見型の総合戦略に反映させていきます。

さらに、第5次振興計画(後期計画)の策定にも活かしていきます。

今後、以下の取り組みを予定しています。

◇住民視点

- ・中学生のくにみ未来づくりワークショップの開催
- ・町の若手職員と町民とのワークショップの開催
- ・町民アンケートの実施

◇専門家視点

- ・総合戦略有識者会議の開催(地域振興・起業・産業・子育て支援・ワークライフバランスの専門家)
- ・統計データの分析・推計調査の実施

◆問い合わせ 企画情報課総合政策室 ☎ 585-2217

くにみ市場

日時 7月25日(土)、26日(日)

午前9時から午後2時

場所 グリーンアリーナ 923 駐車場

…問い合わせ まちづくり交流課 ☎ 585-2132…

出荷組合員も
募集して
います!

いらっしゃいませ～
国見町の新鮮野菜を
たくさん用意しました!